

2. 市民力向上(市民学習・研修)事業

— 市民対象に多様な学習の機会として26コース、124講座を提供。講師派遣237件。

協会は、①「一般市民向け」の多様な講座、②語りの「技術研修」、③「NPO関係者」向け講座、④市民活動推進の「専門職対象の講座」、⑤「企業の社会貢献担当者」講座…と、多様な講座を開講している。2012年度は、5形態、26コース、124講座を開講、のべ2,702人が受講した。また、他団体が開催する講座などにのべ381人の講師を派遣、2万0,457人が受講した。

1. 研修事業の全体像

市民活動に関する協会の研修事業は、協会主催で各種の講座を開催するとともに、外部から依頼に応え、講座企画・講師派遣という形で、全国各地で市民活動に関する講演活動(出前講座)を行っている。

その参加者数の推移を図2-1に、主催講座の参加者の推移を図2-2に示す。なお主催講座参加者数はのべ人数を示している。2012年度の主催講座では、2011年度と比べ参加者数が354人減少したが、これらは、新拠点等の開設準備に人員を投じたこともあり、自主的な講座数や共催講座の減少による。

図2-1 研修事業の参加者数

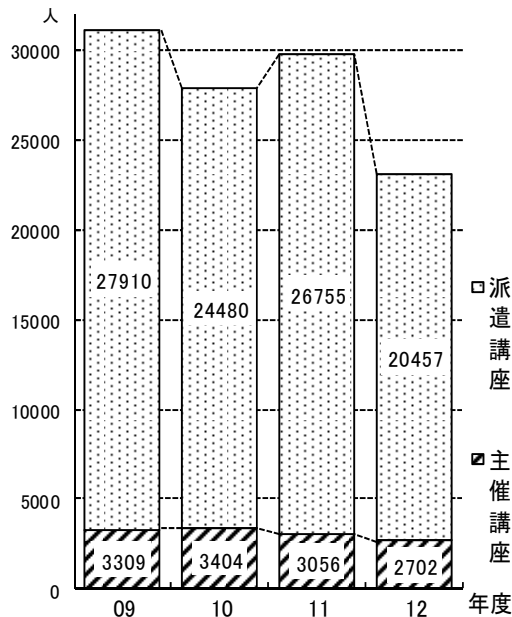
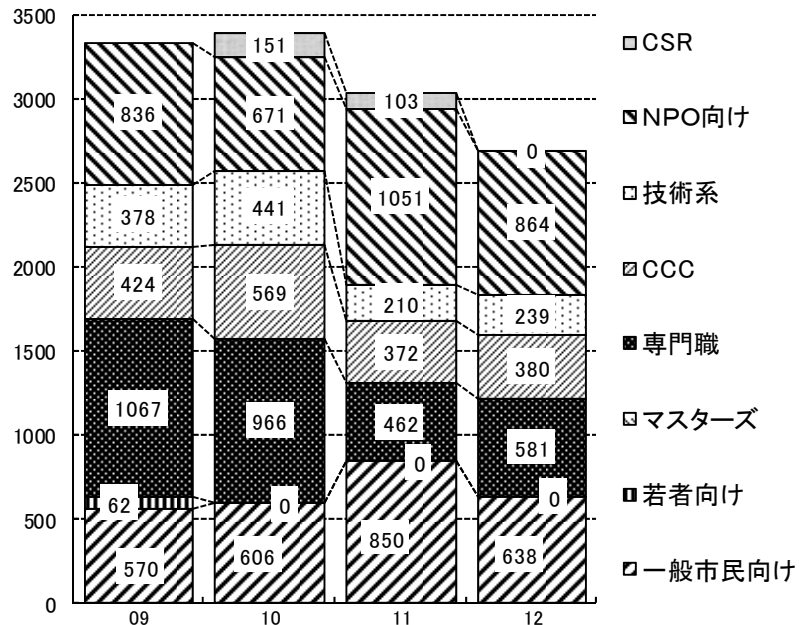


図2-2 主催講座の参加者数



2. 講座・研修会の開催

協会全体での主催講座数(事務局を担った共催講座を含む)は26コース(2011年度は23コース)、124講座(同140講座)。のべ参加者数は2,702人(同3,056人)である。

【A. 一般市民向けの講座:「市民力」向上の取り組み】

(1) 「はじめてのボランティア説明会」の開催 [大阪府共同募金会の配分金を一部活用]

ボランティア活動希望者の集合オリエンテーションとして、毎月3回程度、平日の夜、土曜の朝に開催。講師は協会のボランティアコーディネーターが務め、2012年度は33回開催(2011年度35回)した。

- ・参加者: のべ208人受講(前年度188人)
- ・内容: ボランティアとは? / 活動の種類 / 活動の探し方 / 活動上の注意点など



(2)「定期総会記念講演会」の開催〔大阪府共同募金会の配分金を一部活用〕

定期総会記念講演会として、「災害におけるNPO・ボランティアの役割」をテーマに実施した

- ・日 時：2012年5月26日(土) 10時30分～12時
- ・講 師：河田恵昭(関西大学社会安全学部長) ・会 場：大阪NPOプラザ ・参加者：53人

(3)「裁判員制度についての学習会」等の開催

「“裁判員ACT(アクト)”裁判に市民参加を進める会チーム」が企画運営を担当し、市民向け公開講座「裁判員交流会～集まれ、経験者～」や「みんなで考えよう 裁判員制度」を開催。またチーム内での学習会「裁判員裁判を経験して」を開催。加えて、ウォロ2012年7・8月合併号の特集「裁判員制度と市民参加」の企画編集・執筆を担当し、裁判員経験者の声など、制度の課題や市民参加の現状についてまとめた。

①. 公開プログラム「裁判員交流会～集まれ、経験者～」

裁判員制度施行3年の節目を前に、裁判員経験者の生の声を聞いて実情を知り、制度について市民の立場で考えるシンポジウムを開催。全国から参加があり、テレビニュース等でも取り上げられた。

- ・第1部 経験者交流会～語り合おう～ 第2部 全体交流会～分かち合おう～
- ・日 時：2012年4月8日(日) 13時～17時
- ・会 場：大阪NPOプラザ ・参加者数：23人

②. 公開プログラム「みんなで考えよう 裁判員制度」

次年度の裁判員候補者に名簿掲載通知が送付される11月に、裁判員制度の基本事項を理解し、実際に裁判員を経験した人の話を聞く公開講座を開催した。4人の裁判員経験者、3人の弁護士が参加してのグループ討論も実施し、「貴重な話を聞けた」と好評を得た。(“変える”に参加する10日間 大阪ええじゃないか参加企画として実施)

- ・日 時：2012年11月24日(土) 13時～17時
- ・第1部「裁判員制度ーその意義と裁判員の役割」講師：西村健(弁護士)、第2部「裁判員経験者に聞く」、第3部 グループ討論
- ・会 場：大阪NPOプラザ ・参加者数：35人

(4)「多文化カフェ」の開催〔大阪府共同募金会の配分金を一部活用〕

地域の在住外国人の人たちと生活や考え方について語り合い、多文化共生の土壌を育てる場である。

【第7回】お花見に行きませんか？

- ・日 時：2012年4月1日(日) 11時00分～16時00分
- ・参加者：34人 ・会 場：大阪城公園付近

【第8回】日本での暮らし～アフガニスタンから亡命したゲストを迎えて～

- ・日 時：2012年7月22日(日) 14時00分～17時00分
- ・ゲスト：イマミ・ムスタファさん ・参加者：28人

**(5) 震災復興応援イベント「3.11 from KANSAI」シンポジウムの開催**

東日本大震災により関西に避難されている方々の現状を考え、東北と関西との連携や取り組みを一緒に考える「3.11 from KANSAI」の中のシンポジウムとして企画。詳しくは第5章「被災地・災害支援」で報告する。

【B. 技術研修講座】**(1)「お話の語り手講座」(第34期)の開催** (協力：なにわ語り部の会)

お話の語り手として、「発声練習」「実技」など基本的な技術を身につける10回連続の講座。「なにわ語り部の会」のメンバーを講師に、協会北区事務所などの会場で開催した。また11月10日にはステップアップ講座も同じく「なにわ語り部の会」のメンバーを講師に大阪NPOプラザにて実施した。

- ・日 時：2012年6月2日(土)～10月20日(土) ・参加者：19人(修了生18人のべ165人)
- ・講 師：「なにわ語り部の会」メンバー
- ・ステップアップ講座日時：2012年11月10日(土) ・参加者：74人

【C. NPO関係者向けの講座：「組織力・経営力」向上の取り組み】

(1) NPO入門研修（NPO法人設立・運営説明会シリーズ）〔大阪府共同募金会の配分金を一部活用〕

① NPO入門講座「はじめてのNPO説明会」.. (年4回：第1土曜、13時～15時)

- ・日 時：2012年5月12日、7月14日、9月8日、2013年3月23日
- ・講 師：梅田純平、金治 宏、白井 恭子 ・参加者：計22人（前年度46人/年5回開催）
- ・内 容：NPOとは？/市民活動を組織化すること/ NPOにとっての会員、役員とは など

② 法人設立予定者向け講座「NPO法人の組織のきほんを考える説明会」..

(年4回：第1土曜、15時30分～17時30分)

- ・日 時：2012年5月12日、7月14日、9月8日、2013年3月23日
- ・講 師：金治 宏、白井 恭子 ・参加者：計19人（同42人）
- ・内 容：NPO法人とは？/定款とは？/会員とは？/理事・監事の役割とは？/総会とは？ など

(2) NPO、ボランティアグループのためのレベルアップ講座【大阪市受託事業】

大阪市受託事業としてNPOの運営に必要なテーマで11講座14回を開催。運営にさらに磨きをかけたい活動実践者などが参加した。のべ参加者数：301人（昨年376人）。アンケートによる満足度平均：5点満点中4.5点（昨年4.4点）。

【Step 1】

- ①NPOって何？入門講座（(1)2013年1月12日、(2)2013年3月16日）講師：梅田純平
(1)参加者：22人、満足度：4.3点、(2)参加者：17人、満足度：4.3点
- ②NPO法人取得の基礎講座（(1)2013年1月12日、(2)2013年3月16日）講師：白井恭子
(1)参加者：20人、満足度：4.5点、(2)参加者：17人、満足度：4.5点
- ③知っておきたい会計の基礎のこと（(1)2012年11月30日、(2)2013年2月7日）講師：水谷綾
(1)参加者：15人、満足度：4.3点、(2)参加者：27人、満足度：4.7点

【Step 2】

- ④人が集まる組織づくり ～共感の輪を広げ、担い手を発掘するために（2013年1月25日）
ゲスト：徳谷章子（NPO法人ハートフレンド 代表理事）進行：白井恭子（大阪ボランティア協会 職員）
参加者：20人、満足度：4.6点
- ⑤NPOスタッフの育成とは～成長する人づくりのために（2013年1月22日）
講師：横田能洋（認定NPO法人茨城NPOセンター・commons事務局長）
参加者：27人、満足度：4.7点
- ⑥助成金申請の極意 ～助成元の本音トーク+申請書ブラッシュアップ（2012年11月22日）
ゲスト：山本芳文（大阪コミュニティ財団 専務理事）
東瀬治雄（積水ハウス(株) コーポレート・コミュニケーション部 CSR室）進行・講師：影浦弘司
参加者：12人、満足度：4.2点
- ⑦伝え方・届け方を磨く（2013年1月8日）
講師：日比野純一（特定非営利活動法人FMわいわい代表理事）
参加者：26人、満足度：4.6点
- ⑧NPOとして知っておきたい税務・労務入門（2013年1月7日）
講師：秋岡安（税理士）藤本高英（市民活動センター神戸、社会保険労務士）
参加者：37人、満足度：4.3点

【Step 3】

- ⑨元気になる会議！～ホワイトボード・ミーティングの進め方（2012年12月4日）
講師：ちよんせいこ（人まちファシリテーション工房）
参加者：24人、満足度：4.9点
- ⑩NPOとしての協働と持続可能な事業、組織づくり～テーマ型NPOリーダーに訊く（2013年2月4日）
ゲスト：長福洋子（NPO法人FA（エフエー）理事）中條桂（NPO法人トゥギャザー 理事長）
コーディネーター：水谷綾
参加者：20人、満足度：4.2点
- ⑪教えて！地域コミュニティとのつきあい方～NPOと地域コミュニティの協働をめざして（2013年2月26日）
ゲスト：堀久仁子（大阪都市コミュニティ研究室 研究員）、松尾浩樹（(福)大阪市社会福祉協議会大阪市ボランティア情報センター主査、ボランティアコーディネーター） コーディネーター：永井美佳
参加者：17人、満足度：4.2点

(3) 『認定NPO取得・NPO法人会計基準・導入検討』および『“寄付” “支援者”の拡大』のための実践型プログラムの実施【大阪府「新しい公共支援事業」受託事業】

大阪府より委託を受け、新しい公共支援事業「NPO等の活動基盤整備のための支援事業」として、①「大阪府内のNPO会計・法制度改正の普及促進事業」、②「NPOの「会費」「寄付」拡充のための研修・出張コンサル事業」を実施。研修会、および個別相談会、出張コンサルティングを行った。詳細は、第3章「NPO運営支援、基盤整備事業」で報告する。

【D. 市民活動推進のための専門職養成講座】

市民活動推進の専門家養成に関して、以下のような講座を開催した。

(1) 「ボランティアコーディネーター養成講座」(第38期)

新任ボランティアコーディネーター向け講座。一日でボランティアコーディネーターが「わかる、できる、つながる」実践に役立つ基礎研修。

- ・日 時：2012年7月24日(火)
- ・会 場：大阪ボランティア協会北区事務所
- ・参加者：45人(のべ135人)
- ・講 師：石井祐理子氏(京都光華女子大学)、永井美佳、白井恭子、梅田純平



(2) 「ボランティアコーディネーション力検定・直前研修」(3級、2級)の共催、協力

日本ボランティアコーディネーター協会が主催の上記検定の直前研修を共催・協力した。

【3級検定・共催】

- ・日 時：第10回=2012年6月3日(日)、第11回=2012年12月8日(土)
- ・参加者：第10回=53人(のべ106人)、第11回=86人(のべ172人)
- ・講 師：第10回=海士美雪(あしやNPOセンター)、加留部貴行(九州大学)
第11回=公文真理亜(北九州市社会福祉協議会)、垂井加寿恵(神戸市中央区社会福祉協議会)

【2級検定・協力】

- ・日 時：第2回=2012年8月4日(土)、5日(日) ・参加者：36人(のべ72人)
- ・講 師：早瀬 昇、筒井のり子(龍谷大学)、後藤麻理子(日本ボランティアコーディネーター協会)、栗木梨衣(愛知県国際交流協会)

(3) ボランティアコーディネーター向けファシリテーション研修の共催

日本ボランティアコーディネーター協会と共催で、以下の講座を実施した。

- ・タイトル：「ボランティアと向き合うことの多いあなたのためのファシリテーション講座『もっと活動の振り返り(リテンション)を効果的に行いたい』」
- ・日 時：2012年11月2日(金)
- ・参加者：14人 ・講 師：加留部貴行(九州大学)

(4) 市民活動支援センタースタッフ向け研修会の開催(第3章、第7章で詳細を報告)

- ①「全国民間ボランティア・市民活動推進者企画戦略会議」の開催協力 のべ参加者：30人
- ②「関西NPO支援センターネットワーク(KNN)」研究会の開催 のべ参加者：42人
- ③「KNNゼミ」の開催 のべ参加者：55人
- ④「関西地区大学ボランティアセンター連絡協議会」の開催 のべ参加者：43人

(5) 企業担当者向け研修会の開催(第6章で詳細を報告)

- ①「フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム」 6回。のべ参加者：322人
- ②「リンクアップ・フォーラム・自主ゼミ」 5回。のべ参加者：58人

3. 他団体主催講座への講師派遣

(1) 講師派遣依頼の受付数

以上の主催講座の一方で、協会では行政や社会福祉協議会、NPO支援センター、市民団体など他団体が開催する「協働研修」「ボランティア講座」「CSR研修」「市民活動セミナー」などの講座の企画立案に応じるとともに、職員などを講師として派遣している。

2012年度は240件(前年度258件)の講師派遣依頼が寄せられた。図2-3に示すように、新しい公共事業の関係からNPO支援センターからの依頼や行政とNPOとの協働のテーマ、震災関連のテーマ等の依頼が増加したが、全体として依頼総数は減少した。うち依頼に応えられたのは237件(受託率98%。前年度96%)で受託率はやや向上した。紹介できなかったケースの大半は特定の職員や日程を指定されたため、日程調整ができなかったものである。

(2) 講師派遣の実績

上記の事務局で調整し講師派遣を行った237件に加え、大阪大学、関西大学、関西学院大学、龍谷大学、神戸国際大学、甲南女子大学などに定期的に非常勤講師を派遣(のべ144回)した件数も加えると、全国各地のボランティア講座やNPO関係講座などへ、のべ381件(前年度413件)の講師を派遣した。これらの講師派遣での聴衆の数は、のべ20,457人(前年度は26,755人)に達した(図2-4)。

講師派遣での講座内容(派遣分)は、NPO全般や組織運営関係が88件、ボランティア入門など基礎的なものが48件、市民(活動)と行政の協働に関するものが40件、ボランティアコーディネーションに関するものが16件、CSR(企業の社会的責任)・企業市民活動関係11件などであった。その他の多くは震災支援にかかわるテーマであった(非常勤講師を除く)。(図2-5) なお、委員活動はのべ121回、視察対応は3回行った。

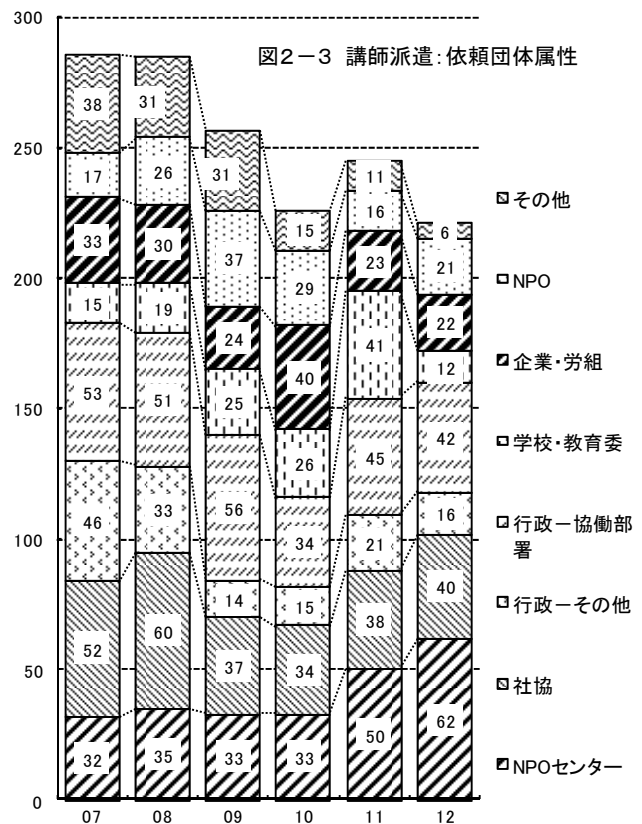


図2-4 講師派遣:派遣地域 (非常勤講師含む)

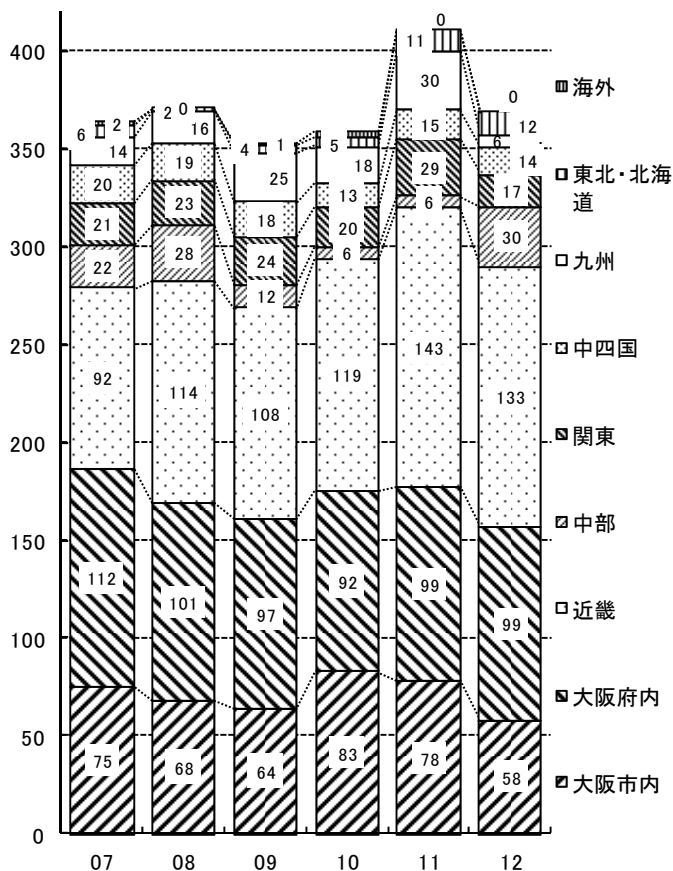
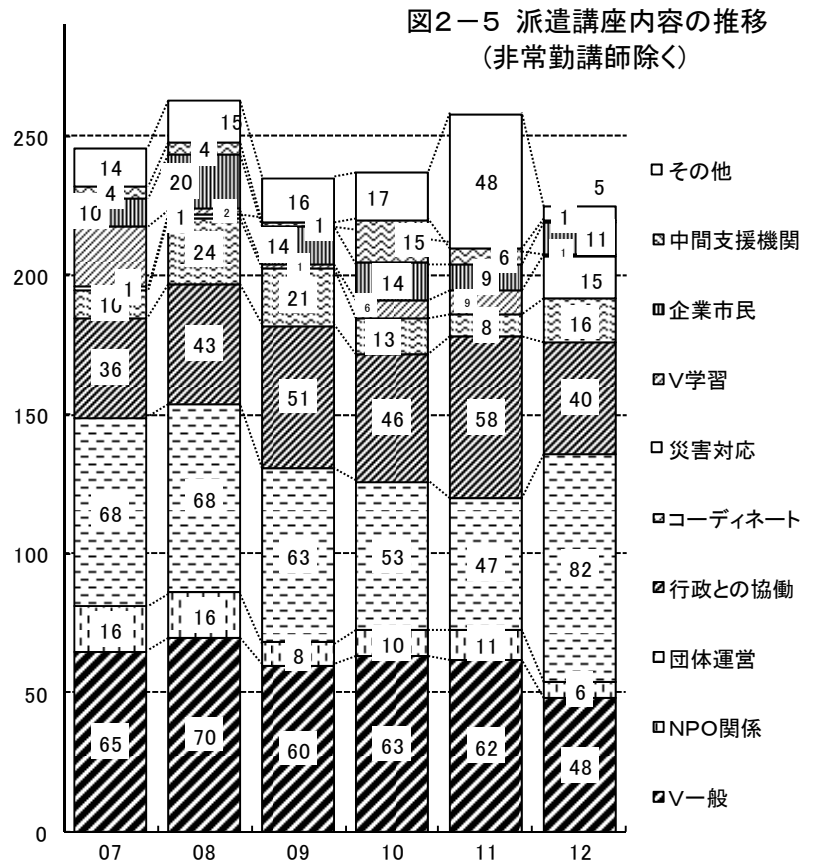


図2-5 派遣講座内容の推移 (非常勤講師除く)



(3) 研修生・インターンの受け入れ

2012年度に受け入れたインターンは下記の3人であった(研修生の受入はなし)。

①企業市民活動推進センター「CRM研究会」へのインターン受け入れ

- ・氏名：山口 裕樹(大阪大学大学院国際公共政策研究科) ・期間：2012年5月～2013年3月
- ・活動内容：企業市民活動推進センター「CRM研究会」研究員

②情報誌『ウォロ』へのインターン受け入れ

- ・氏名：阪口侑洋(大阪大学人間科学部) ・期間：2012年7月～2012年12月
- ・活動内容：取材・執筆、発送業務

③甲南女子大学「インターンシップ体験演習」の受け入れ

- ・氏名：久貴 理恵、安田 絵美(甲南女子大学3回生) ・期間：2012年5月～2013年1月
- ・活動内容：「ボランティアスタイル」チーム会議への参加、「フェアトレード・セレクトカタログ」(久貴)と「女子的防災持ち出し袋」の企画立案と実施、評価など